

～ 中津のふくし応援誌 ～

社協だより なかつ

発行：中津市社会福祉協議会

2018
June 6

地域で暮らし続けるための 生活支援の仕組みづくり



住民型有償サービス立ち上げ準備話し合い（南部地区）



生活支援・介護予防を考える会



支え合いスタッフ養成研修



住民型有償サービス立ち上げ準備話し合い（三光地区）

社協窓口紹介

中津市社協事務所の所在地

福祉教育推進

わいわい福祉ひろば

平成30年度の取り組み

事業計画・予算

ご存知ですか？

養護老人ホームの基礎知識

2018年6月 第71号

地域で暮らし続けるための生活支援の仕組みづくり

平成27年度の介護保険法の改正に伴い、中津市より「生活支援体制整備事業を中津市社会福祉協議会が受託し、いくつになっても安心して生活できる地域づくり」地域包括ケアの構築という趣旨のもと、「住民主体の地域づくり」に関わる「生活支援コーディネーター」が配置されました。

生活支援コーディネーターは高齢者の生きがいづくり・介護予防の視点を基本にしつつ、生活の場である環境づくり＝地域づくりに取り組みます。

生活支援コーディネーターの 目的や役割

- ・ 地域にある既存の取り組み・組織を活用しながら、資源開発や関係者のネットワーク構築を図る
- ・ 地域のニーズを把握し、サービス提供者とつなげる
- ・ 地域における生活支援等の仕組みづくりとなる取り組みを推進していく
- ・ 地域のボランティアや支え合い活動の担い手の養成・後方支援

現在、中津市の生活支援コーディネーターは、市内全域を担当する第1層が1名、より生活に密着した校区・地区を担当する第2層が山国・三光・南部の3地区にて各1名ずつの4名が活動中です。

平成29年度の取り組みの一部

- ・ 生活支援・介護予防を考える会（市と協働での開催）
- ・ お宝 探し塾の開催（南部・山国）
- ・ 支え合いスタッフ養成研修の開催
- ・ あんさんくフォローアップ研修の開催
- ・ 住民型有償サービスマネージャー研修の実施
- ・ 住民型有償サービス団体立ち上げに向けての支援（本耶馬溪・今津）

このような取り組みは、地域の皆さんや福祉専門職をはじめとしたさまざまな業種の方々に支えられて行われています。

今後、生活支援コーディネーターは地域に出掛け、皆さんと一緒に安心して生活できる地域づくりに取り組んでいきます。



生活支援・介護予防を考える会



住民型有償サービスマネージャー研修



支え合いスタッフ養成研修

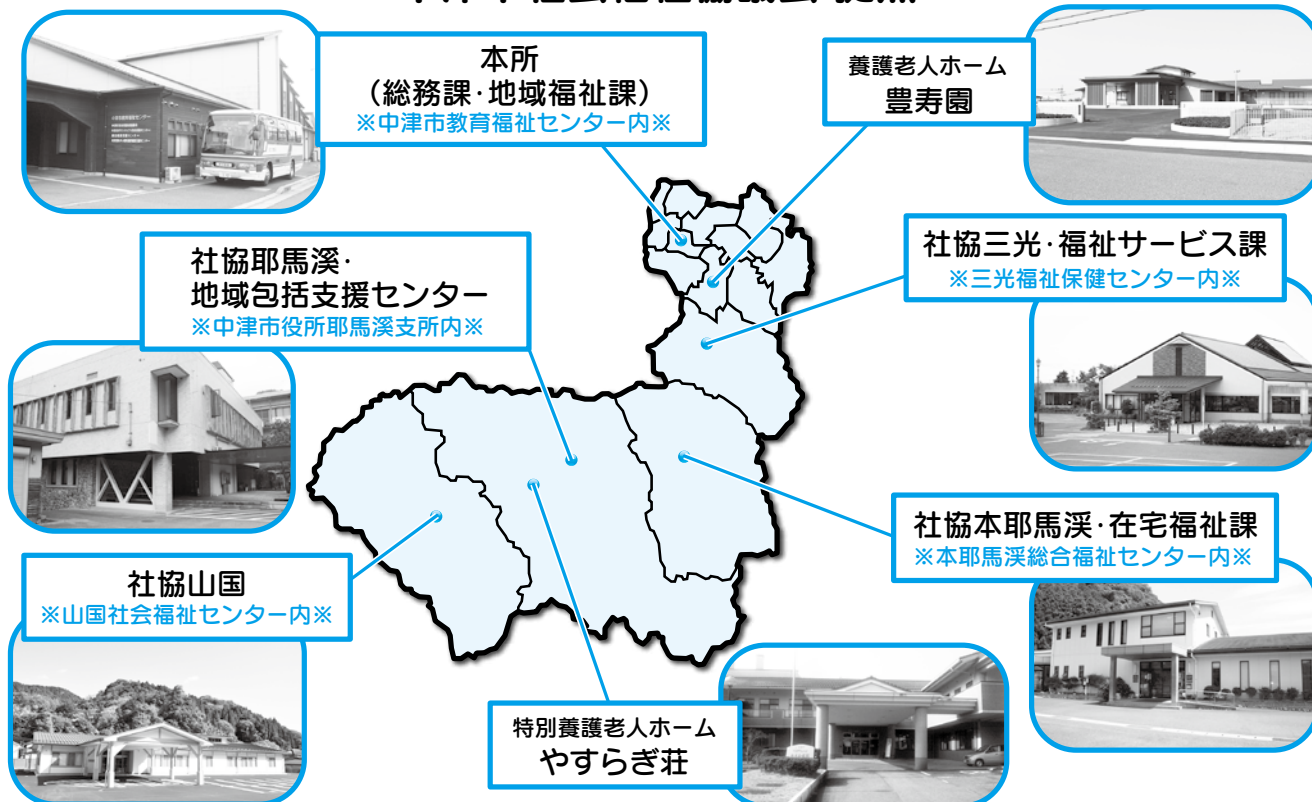
中津市社会福祉協議会 事務所の所在地について

中津市社会福祉協議会は、地域に身近な窓口として市内各所にあります。今年度より新しく移転したところもあります。

下記の事務所の場所は、基本的に平日の8:30～17:15の間、職員が常駐しておりますので、お気軽にご利用ください。

ご相談内容により、各事務所で連絡を取り、対応していきます。

中津市社会福祉協議会 拠点



中津市社協 各事務所	住 所	Tel	Fax
本所 (総務課・地域福祉課)	中津市沖代町1丁目1番11号 中津市教育福祉センター内	(代表・総務)24-4294 (地域福祉) 23-2095	24-7682
社協三光 (地域福祉・福祉サービス課)	中津市三光成恒421番地1 中津市三光福祉保健センター内	(地域福祉) 43-5390 (福祉サービス) 27-7715	43-2594
社協本耶馬溪 (地域福祉・在宅福祉課)	中津市本耶馬溪町折元1247番地 中津市本耶馬溪総合福祉センター内	(地域福祉) 53-2255 (在宅福祉) 53-2245	53-2253
社協耶馬溪 (地域福祉・包括支援センター)	中津市耶馬溪町大字柿坂138番地1 中津市役所耶馬溪支所内	(地域福祉) 27-8870 (包括) 27-8877	27-8878
社協山国 (地域福祉・ケアセンター)	中津市山国町守実89番地1 山国社会福祉センター内	(地域福祉) 62-2898	62-2905
養護老人ホーム 豊寿園	中津市大字永添2606番地20	64-8112	64-8114
特別養護老人ホーム やすらぎ荘	中津市耶馬溪町大字樋山路1番地1	56-2386	56-2928

地 域 福 祉 情 報

居場所

地域の福祉活動の新たな拠点 「まーちゃん家」^ち 開所式

4月17日、耶馬溪町戸原にて多機能型地域生活拠点「まーちゃん家」の開所式が行われました。空き家を活用したこの拠点は、そこに住んでいた方の「地域の為に活用していただけたら」というご遺志を受け誕生しました。開所式には中津市長をはじめ来賓の方々や地域の皆さん、中津南高等学校耶馬溪校の生徒やご遺族の方など約60名が参加し、式典の後はお茶を飲みながら交流を深めました。

平成28年にご遺族から社協にご相談いただき、その後建物の近くにある耶馬溪校の生活福祉コースの生徒の方々と住民の方々と話し合いを重ねた結果、活用の一つとして高校生と地域の方が交流できる場「だいたいクラブ」が30年度からスタートします。今後はこの活動をきっかけとして、学校や地域の方をはじめ様々な方々が「まーちゃん家」を拠点につながらながら「多機能型地域生活拠点」としての活用方法を考えていきます。



みんなで記念撮影



開所式の様子

平成30年

- 耶馬溪校の教員・生徒との話し合いを行う。また、地域住民とアイデアについて話し合いを行う。
- 耶馬溪校と地域住民による運営や活動アイデアについての合同会議を行い、名称が「まーちゃん家」「だいたいクラブ」に決まる。
- 準備会メンバーにより開所に向け屋内外の清掃活動を行う。
- 準備会メンバーが「まーちゃん家運営協議会」となる。
- 4月17日開所式。



平成29年

- 住宅の近隣に、大分県立中津南高等学校耶馬溪校があることから、地域と生徒との世代間交流等について、学校と協議をする。
- 建物・土地・機材の使用方法について現地確認を行い、その後地元サロンのお世話人の方と意見交換を行う。
- 親族代表者と、改修や活用方法について話し合いを行う。



平成28年

- 遺族の方より、「住宅と土地を公共的な活動に使ってもらいたい」と社会福祉協議会に相談を受ける。

開所までのあゆみ

地域福祉情報

研修会

「手を伸ばせば誰かとつながれる」
誰もが寄り合える、多様な居場所づくりを目指して

3月1日、中津市教育福祉センターで「居場所づくり研修会」が開催されました。motooひょうごの栗木剛氏を講師にお招きし、『そもそも居場所ってなんやねん』をテーマとして、中津市内でいきいきサロンをはじめ様々な交流の場づくりを行っている人が参加されました。

空き家を活用した地域の拠点としての居場所づくりや、障がい者と健常者が気軽に交流できるサロン活動、また特別な活動としてではなく、日常生活のつながりの中で自然発生的に子どもの居場所となっているお宅など、様々な形の取り組みを実践している方々による発表を行い、「居場所」の多様性や可能性を改めて考える機会となりました。また、栗木氏の講話は軽快な関西弁で楽しく分かりやすい内容で、簡単なレクリエーションなども交えつつ進められ、会場に絶えず参加者の笑い声が溢れる中で、排除せず誰もが寄れる「居場所づくり」を進めることの重要性を学びました。



取り組み事例の発表



終始笑いの絶えない講師の話

研修会

避難者同士が協力して運営する避難所を考える
～災害ボランティア養成講座 避難所運営訓練～

3月17日、中津市・中津市社協共催による「災害ボランティア養成講座」が開催されました。この講座は、災害時における住民同士の助け合いやボランティア活動について学ぶことを目的として毎年開催されており、今回は「避難所運営訓練」という形で実施され、当日は参加者が約100名を超える中で実施されました。

別府市の防災危機管理課の村野淳子氏より、様々な被災地での支援活動経験を中心に、大規模災害時の避難所の実態と避難者主体の避難所運営の重要性についてお話しいただいた後、会場を避難所、参加者を避難者と見立てた疑似体験訓練を行いました。訓練では一人ひとりに人物設定が設けられ、高齢者役や障がい者役などの方がいる中で、実際の避難所で起こりうる様々な問題を投げかけ、避難者同士で相談しながら解決していくプロセスを体験しました。

参加者からは「避難所の混乱した雰囲気は体験でき、自分たちで共同生活のための決まりを作る大変さが分かった」などの声が聞かれ、体験を通じて避難所で支援を必要とする方への配慮やルール作りの重要性を学ぶ機会となりました。



避難者の状況を把握



自然と広がる助け合いの輪

平成30年度事業計画【主な内容】

【事業方針】

中津市社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らせる、地域づくり」を目指し、地域の課題や生活課題に向き合い、住民主体の地域福祉を推進するため、住民の活動を支援する他機関との協働による事業の推進を図っていきます。

【基本目標】

I 総合的な相談支援体制をつくります

A 多様なケースに対応できる総合的な相談支援体制づくり

- (1) 相談関係事業所による相談支援体制の連携強化
 - ① 多機関協働による相談支援体制の連携強化
 - ② 地域住民との連携による相談支援体制の構築
- (2) 気軽に相談できる受け入れ環境の整備
 - ① 地域包括支援センター機能の充実
 - ② 福祉施設による相談支援拠点の充実

B ニーズを抱える高齢者や障がい者の生活を地域の実情に沿って支援する

- (1) 日常生活を営む上での必要な支援を行う生活サポート事業の展開
 - ① 支え合いの地域づくりを進める住民型有償サービスの立上げ及び継続支援
 - ② 移動外出支援についての検討
 - ③ 認知症の方やその家族が安心して生活できる地域づくりの推進
- (2) 住民の権利を継続的にサポートする権利擁護事業の展開
 - ① 法人後見事業の推進
- (3) 障がい者の社会生活の基盤づくりと日常生活サービスの展開
 - ① 障がい者（児）の在宅における日常生活支援サービスの展開

II 新たな福祉サービスを研究し、開発します

C 介護事業などを活かした、地域に必要とされるサービスの展開

- (1) 地域のニーズに応じた新たな高齢者福祉サービスの実施
 - ① 職員（理学療法士等）による専門的知識の地域還元
- (2) 介護予防プログラムの充実による日常生活支援総合事業の推進
 - ① 在宅福祉課と豊寿園との連携による高齢者が自立した日常生活の支援

(3) ご利用者が快適で安全・安心な生活を目指したサービスの向上

- ① 職員の技術を高めるための専門的な研修の開催

Ⅲ 生きがいにつながる福祉活動とボランティア活動を支援します

D 地域の社会資源を活用した高齢者・障がい者の生きがいづくり

- (1) 高齢者・障がい者が交流できる地域行事の企画・支援
 - ① サロンの多機能化による地域の拠点づくり
- (2) 特技や能力を地域活動で発揮できる取組の推進
 - ① 福祉施設入所者参加の多様な活動プログラムを通じた社会貢献活動

② 福祉施設と他機関連携による生きがいづくりの推進

E ボランティアをしたいという想いをカタチにするためのボランティア・市民活動センター機能の強化

- (1) ボランティア活動の実践につながる研修会の実施
 - ① 多様な人が参加しやすいボランティア講座の開催

Ⅳ地域福祉のネットワークを広げます

F 地域の課題解決に向けてつなげられる地域の人材（リーダー）づくり

- (1) 福祉課題の解決につながる専門的な知識を身につけることができる講座の開催・支援
- ① 住民のマネージメント力向上研修の開催
- ② 地域福祉ネットワーク協議会運営の人財育成
- (2) 地域の課題に気が付き、それを解決できる所とつなげることができる「コーディネーター」の養成
- ① 第2層（校区単位）生活支援コーディネーターの設置
- (3) 地域に存在する社会資源（お宝）の発掘と人財バンクの構築
- ① お宝探し塾の開催

G 見守り体制や災害対応ができる住民参画の地域に向けた福祉ネットワークづくり

- (1) 地域住民が集まる場と機会の充実
- ① 第3次中津市地域福祉計画・地域福祉活動計画実践に向けての支援
- ② 福祉施設による地域と一体となった防災対策の仕組みづくりの推進
- ③ みんなのふくしまつりの充実
- (2) 広域（15地区）のネットワークと小地域ネットワークづくり
- ① 地域福祉ネットワーク協議会の立ち上げ支援
- ② ネットワークにつながる見守り活動の推進
- (3) 地域の活動や資源に関する情報収集・発信・共有の充実
- ① フェイスブックでの情報発信の充実

V 効果的・効率的な経営基盤（組織・人材・財政）の確立

組織に関すること

H 災害時の地域ニーズに対応できる組織体制づくり

- (1) 地域社会に対応した組織体制の確立
- ① 被災者支援ネットワークの強化
- I 住民の代表である役員と職員が一体的に事業推進できる仕組みづくり

- (1) 役員と職員の協働による事業の推進

- ① 第3次発展強化計画の策定

人材育成に関すること

J 地域に信頼される職員を目指す職場環境の改善

- (1) 職員のメンタルヘルスケアの充実
- ① ストレスチェック制度を活かす取り組み
- K 福祉の専門職集団としての意識醸成のための研修体系の確立
- (1) スキルアップにつながる専門的な研修会の開催
- ① 計画的な職員研修会の開催

財源に関すること

L 地域福祉事業に有効活用できる自主財源を確保するために多様な取り組みの実施

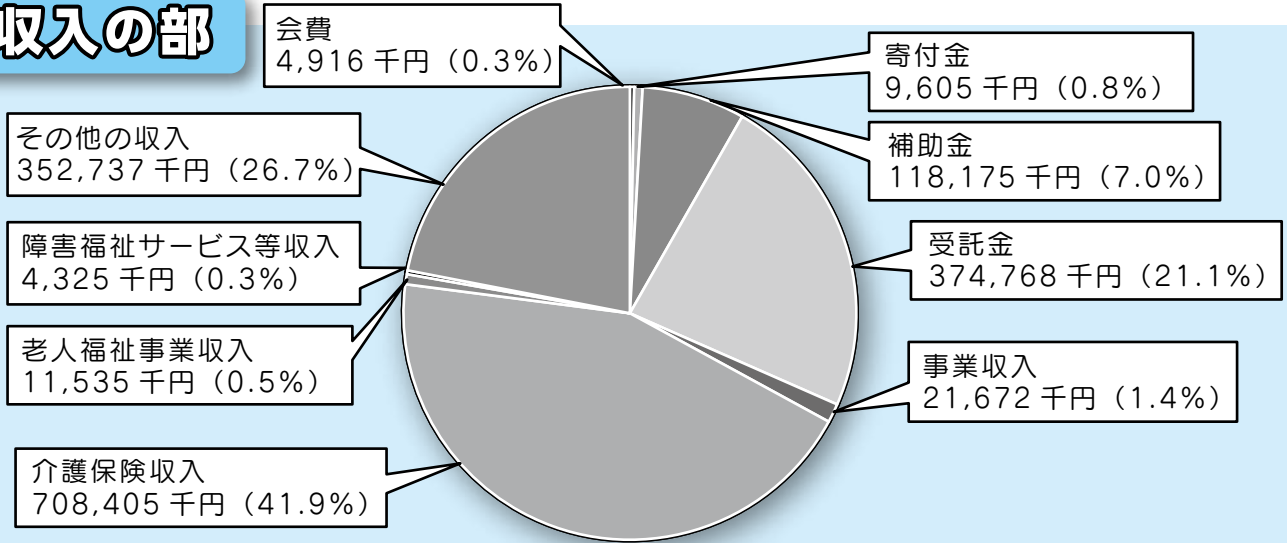
- (1) 地域還元に向けた収益を見込める新たな取り組みの実施
- ① 介護報酬改定による介護人材の処遇改善と財政収支バランスの確保（やすらぎ荘）
- ② 効果的なファンドレイジングの導入

M 地域に密着した地域福祉事業運営方針と収支管理体制が一体となった経営体制の確立

- (1) 迅速かつ的確な判断ができる「収支管理体制」の確立
- ① 経営に必要な知識を取得するための研修会の実施

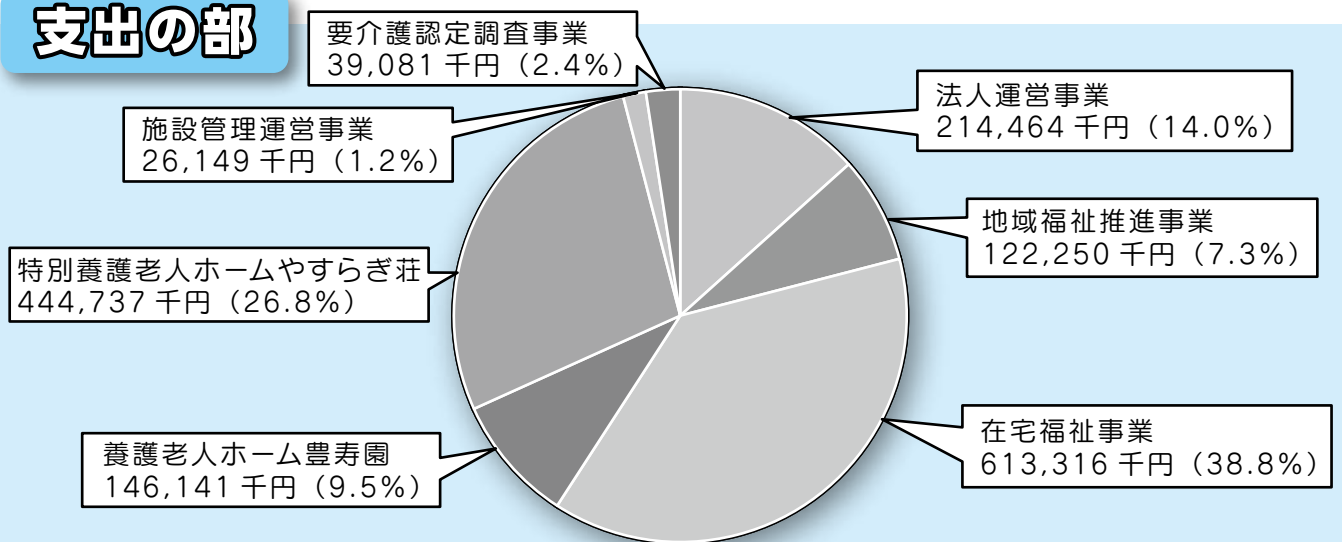
平成 30 年度 当初予算額：1,606,138千円

収入の部



会 費	社協一般会費、特別会費	介 護 保 険 収 入	在宅介護や施設介護による収入
寄 付 金	香典返し、個人・団体からの一般寄付、物品寄付	障 害 福 祉 サ ー ビ ス 収 入	障がい者の在宅福祉サービスにかかわる事業収入及び利用料収入
補 助 金	市からの補助金収入	老人福祉事業収入	措置事業における事業収入
受 託 金	市や大分県社協からの受託事業の収入	そ の 他 の 収 入	預金利息、その他の活動収入

支出の部



法 人 運 営 事 業	法人の管理運営費	や す ら ぎ 荘	特別養護老人ホームの運営
地域福祉推進事業	地域福祉ネットワーク支援、各種相談援助事業、広報啓発	豊 寿 園	養護老人ホーム豊寿園の運営
在 宅 福 祉 事 業	デイサービス、ホームヘルプ、訪問入浴、居宅介護支援、障がい福祉サービスなど	施設管理運営事業	教育福祉センター、生活支援ハウス、児童館、児童クラブ、その他施設管理
		要介護認定調査事業	介護保険の認定調査業務

寄付金品について

市民皆様のあたたかい

ご芳志に感謝申し上げます

※平成三十年一月四日から

五月十五日までの受付分を掲載しています。

香典返し

	原	三	吉	小	井	中	福	今	大	小	外	木	松	河	清	高	坂	岩	田	東	中	永	奥	末	四	前	新	眞	久	及	今	六	中
田光	倉武	上尾	田保	吉川	土山	園下	吉倉	野水	松井	崎村	村岡	岡村	廣本	辻田	谷邊	保川	吉井	本津															
和法様(故耕作様)白木	三喜男 子	信興一 子	紀子	初るみ 夫功	次雅弘 子	サグ子 弘	ヒデ介 一登	修正平 子	恵喜一 久夫	寅忠隆 二美	文恵美 子	次男也 士学	哲健士 学	正孝文 源	一花幸 子	八重子 枝子	和代子 枝子																
	公大	コリ子	競文	啓二	望信枝	清太郎	慶彦	道世	コス好	典子	野畑金 子	サツキ 子	道和子	ミドリ 子	マキ子	義徳千 年	諱治子	和紀子	鸛善壽 子	美代子	フサ子	コキ子	照河次	敏雄	紘一	登美博							
	牛神	中原丸	北新地	万田	小堀町	田尻	古金谷	北原	金谷南ノ丁	是則	上如水	合馬	宮太	一大新田	下池永	伊藤田	犬丸	牛神	上池永	是則	北浦町	犬丸	野依	萬田	中殿町	大悟法	上宮永						
金一封	金一封	金一封	五万円	金一封	金一封	五万円	五万円	金一封	金一封	三万円	金一封	五万円	三万円	三万円	三万円	金一封	金一封	金一封	三万円	金一封	金一封	金一封	金一封	十万円	金一封	金一封	金一封						

◆金丸	◆黒岩	◆富谷	◆岩下	◆若本	◆藤吉	◆神後	◆武野	◆板迫	◆宮下	◆矢下	◆古野	◆鬼岡	◆中田	◆幸島	◆江野	◆津留	◆松崎	◆中井	◆辻田	◆園田	◆藤本	■耶馬溪	◆久米	◆藤原	◆小川	◆墨谷	◆森田	◆平野	◆粉尾	◆竹原	◆筧田	◆堀尾	◆岩尾	■加那馬溪	◆石川	◆松下	◆餘野	◆林島	◆田中	◆宇水	◆深都	◆平宮	◆金野	◆演丸	◆山口
隆惠美 昌子	様義孝 故	様孝孝 故	様孝和 故	様孝幸 故	様孝一 故	様孝徳 故	様孝生 故	様孝博 故	様孝幸 故	様孝三 故	様孝弘 故	様孝美 故	様孝昭 故	様孝厚 故	様孝一 故	様孝明 故	様孝マ 故	様孝ス 故	様孝ミ 故	様孝一 故	様孝健 故	修八千代司	様三郎	様隆昇	様良男	様和徳	様第五郎	様美千男	様富士子	様富政邦子	様富三ヤ子	様三ヤ子	様元彦	様美奈子	様照彦	様光國	様伸茂	様秀忠	様昌宏	様令靖	様丸敏	様シグズ	様美佐子		
時 松	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	様 様	博克己	様克利人	様蓮香	様艶信	様セツ子	様ツユ子	様一美	様ッル子	様木田マサエ	様眞繁	様政徳	昭二	様茂生	様勤一	様精子	様レイ子	様三治	様益田静	様喜代昭	様美田文子	様窪鶴子	様東子	様靜雄	
大島	柿坂	中畑	金吉	深耶馬	平坂	柿坂	川原口	山移	金吉	金吉	金吉	小友田	宮田	小友田	深耶馬	三尾母	川原口	川原口	山移	戸原	宮田	大島	山移	跡田	東谷	西谷	樋田	跡田	東谷	今行	豊前市	跡田	跡田	西谷	樋田	下深水	佐知	白木	諫山	諫山林	西水深	下深水	森上	下深水	小袋
三万円	金一封	金一封	五万円	金一封	金一封	三万円	金一封	金一封	五万円	金一封	金一封	十万円	五万円	五万円	五万円	三万円	金一封	金一封	十万円	三万円	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	一万円	金一封	金一封	金一封	金一封	五万円	金一封	金一封	金一封	金一封	五万円	金一封	金一封	三万円	金一封	

般寄付

◆坂	◆熊	◆船	◆河	◆井	◆長	◆井	■山	◆江
本谷	方端	嶋上	畑上	上上	国			洲家
ひとみ	正祐	角次	秋登	美悟	集介	洋		耕明
様	様	様	様	様	様	様		助美
(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	様
藤原幸男	ユリ子	美千代	千代子	英彦	レイコ	シゲノ	恭子	様
様	様	様	様	様	様	様	様	様
中摩	草本	平小野	平小野	平小野	槻木	宇曾		金吉
金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封		金一封

一般寄付品

中津	中津アイリス 様	10、000円
中津	東九州短期大学 学友会 様	32、950円
中津	大分県立中津東高等学校 ビジネス会計科2年5組 様	25、224円
中津	中津市母子寡婦福祉連合会 様	100、000円
中津	島田公博 様	金一封
中津	中津市母子寡婦福祉連合会 中津支部 様	金一封
中津	三光	10、000円
中津	弁護士法人 清源法律事務所 様	金一封
中津	片山 愛 様	10、000円
中津	本耶馬溪	金一封
中津	岩尾 富子 様	金一封
中津	下曽木婦人会 様	金一封
中津	社協本耶馬溪OG 様	金一封
中津	山国	10、000円
中津	矢幡了用 様	金一封
中津	裏谷地区ふれあいサウン 様	金一封

※掲載内容については寄付者ご本人の意思確認により掲載させて頂いてます。

福祉教育推進「わいわい福祉ひろば」

わいわい福祉ひろばは、中津市内近郊にお住まいの障がいのある方や高齢の方、ボランティアの皆さん等にタレント（講師）としてご協力いただき、「人づくり・コミュニケーション力の向上」の視点で、「福祉教育」として平成6年度より実施している事業です。主に小学校の児童や保護者の方々を対象に、

「わいわい」「楽しく」

見て・聞いて・体験して

福祉について考えるひろばとして、小学校からの希望に応じて「聴覚しょうがい」「肢体しょうがい」「視覚しょうがい」「エルダー（高齢者）」の4コースで実施しています。

聴覚コース



- 障がいのある方のお話
- 接し方（コミュニケーション）
- 手話体験
- 質問・意見交換

肢体コース



- 障がいのある方のお話
- 車いす体験
- 質問・意見交換

視覚コース



- DVD視聴（市内に住んでいる障がい者の様子について）
- 障がいのある方のお話
- 接し方（コミュニケーション）
- 点字体験または盲導犬とのふれあい
- 質問・意見交換

エルダーコース



- 高齢者の方のお話
- 高齢者疑似体験
- グループで話し合う
- 質問・意見交換
- ※クラス単位で開催（40名以内）

★ 平成29年度は、22校の小学校で計53回実施しました。

ご存知ですか？ 養護老人ホームの基礎知識

『養護老人ホーム』とは常時介護を必要とせず身の回りのことはご自分でできる原則、65 歳以上の高齢者で身体・精神的理由や経済的理由、環境上の理由により居宅での生活が困難な高齢者を市町村の審査（措置）により入所させて養護するとともに生活の中で困っていることに対し、必要な指導・助言、訓練を受けながら、地域や在宅での自立生活を目指す老人福祉法の社会福祉施設です。

介護サービスを提供する『特別養護老人ホーム』等の介護保険施設とは異なり、目標は社会復帰であることから入所後は自立した生活が送れるように専門職間での連携を図りながら自立へのサポートを行っていきます。

～中津市豊寿園での支援内容～

食事

バランスのとれた
食事提供・栄養指導



生きがい活動

養護老人ホーム

地域住民や福祉関係者の
ご協力を頂きながら
様々な活動や訓練を通して
入所時の生活困難を
支援（克服）

相談支援

日常生活の指導・助言
生活相談・退所支援



健康

健康管理・健康相談



機能訓練「リハビリ教室」



社会貢献活動



《養護老人ホームが目指す自立支援》



在宅生活へ

ご自身が住み慣れたお宅での生活の実現



地域社会へ

住み慣れた地域での社会参加の実現



身寄りの元へ

肉親との生活の実現

お知らせコーナー

『平成30年度 夏のボランティア体験月間（夏ボラ）』開催のお知らせ

今年も、中津市内の福祉施設や地域で活動しているボランティア団体の協力により、『平成30年度夏のボランティア体験月間』が実施されます。夏の一定期間、ボランティア活動を通じて人と人との出会いをしてみませんか？きっと思い出に残る夏になると思います！



昨年度ボランティア活動をした方からの声です！！

- ・ 将来の夢のために仕事の経験をしておきたかったから
- ・ 去年参加して楽しかったので今年も参加しようと思った
- ・ 人見知りを克服し、コミュニケーション能力を高めたい
- ・ 初めてのボランティアでしたが、やりがいや達成感を感じ、充実した時間を過ごせました
- ・ 幅広い年代の方と関わる事が出来て楽しかったです

ボランティア市民活動センターでは、ボランティアに関してのご相談を随時受け付けています。あなたも、ボランティア活動を通じて新たなつながりをつくって、新たな自分に出会え、気付く事ができるかも？ボランティアに関することなら下記までお問い合わせをお願いします。お待ちしております。

【対象者】ボランティア活動に興味のある方

【日 時】平成30年7月21日～8月31日の間

【申し込み期間】平成30年7月1日～随時

【問い合わせ・申し込み】中津市ボランティア・市民活動センター TEL：23-2095

障がい児・者 余暇活動支援事業「てくてく」

■事業説明

障がい児・者が余暇を充実して過ごすための活動の場を提供することで、障がい児・者の心身の健康増進と自立のための能力の獲得を支援することを目的としています。

■内容（予定）

楽しく体を動かすことのできる軽スポーツレクリエーションなど

例) ボッチャ、フライングディスク、卓球バレー、カヌー、陶芸 他



■開所日時

月1回開催予定（原則第2日曜日 3時間程度）

■参加費用

1回200円 ※きょうだい児が参加する場合は
1人あたり1回50円が必要です。

■ご利用方法

指定の申込書に記入し、利用登録申請をしていただく。
※併せて、利用者と一緒に楽しんで活動してくれるボランティアさんも募集しています。



『Summerてくてく』 夏休み中のてくてく

・ 夏休み期間中の7月下旬～8月上旬に、10日間ほど追加でてくてくを開催する予定ですので、参加希望の方はお問い合わせください。

《お問い合わせ・登録の申し込み先》

中津市社会福祉協議会 地域福祉係（中津市教育福祉センター内）
TEL：23-2095 FAX：24-7682